



## 狭山市公共施設等総合管理計画を推進

# 将来に公共施設を 引き継ぐために

### 計画の目的

■公共施設の計画的な  
保全を行います

計画的な保全を着実に進めるためには、財政負担の軽減と平準化を図る必要があります。そのために、施設を良好な状態に保つための計画を施設ごとに作成し、日常的な点検・メンテナンスを行うことはもちろん、社会的ニーズに応じた機能などを付加していきます。

■公共施設の総量を  
40年間で30%削減します

将来、公共施設に投資可能な額を推計すると、負担を残すことなく引き継いでいける公共施設の総量(延床面積)は、現在の総量の7割程度であることが分かりました。必要なサービスを継続して提供していくために、公共施設のあり方を見直し、公共施設の総量(延床面積)の30%を削減します。

■機能重視の  
統廃合などを進めます

公共施設の多くは、施設単体で建てられてきたために、会議室や調理室など、機能が類似・重複して

### 期待できる効果

■財政負担の軽減と  
平準化が図られます

今ある公共施設の約7割は30年以上前に建てられたもので、しかも建てられた時期が近いものが数多く存在します。

このままでは建て替えの時期も費用も一時期に集中してしまい、財政負担の軽減、平準化を図ることができません。

■公共施設サービスが  
維持できます

人口減少、少子高齢化の進展に伴う税収減と、増加する社会保障関係費などから、厳しい財政状況が見込まれる中にも、必要な公共施設のサービスを維持することが可能です。

■時代のニーズに合った  
公共施設に変わります

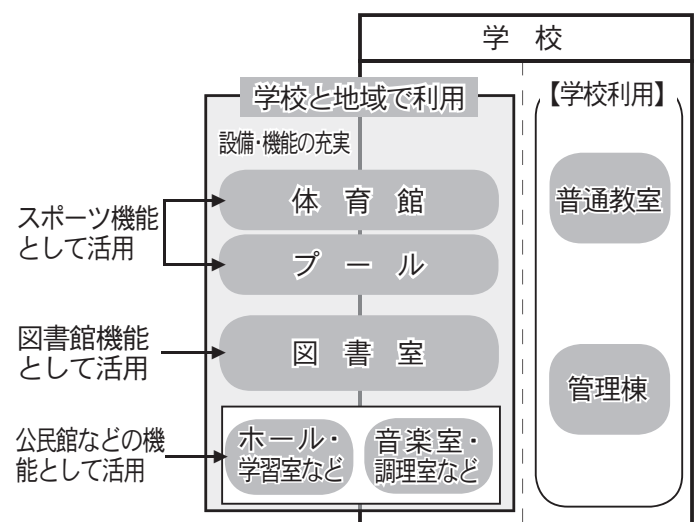
再編により、利便性を向上させ、時代の求めに合わせた公共施設に生まれ変わります。

### 再編の一例 (図2)

小・中学校に地域の活動施設を複合化するパターンを紹介します。

#### 【前提条件】

- ・小・中学校の大規模な改修や建て替えの時機に合わせて、地域住民が活動する公民館などの機能を複合化する
- ・体育館やプール、図書室などは、学校と地域、双方で使用する



### ■得られる効果

- 公共施設の総量(延床面積)の減少により、整備費、管理運営費などが縮減される
- 図書室、公民館などの機能の複合化により、学校が多機能化し、児童生徒の多様な学習と体験活動が実現する
- 地域における生涯学習・コミュニティの拠点(図書室、公民館など)として多様な世代との交流を促進できる
- 慣れ親しんだ施設であれば、災害時にも安心して避難できる
- これまで使用されていなかった時間帯や期間を地域に開放することで、地域住民も施設を有効に利用できる

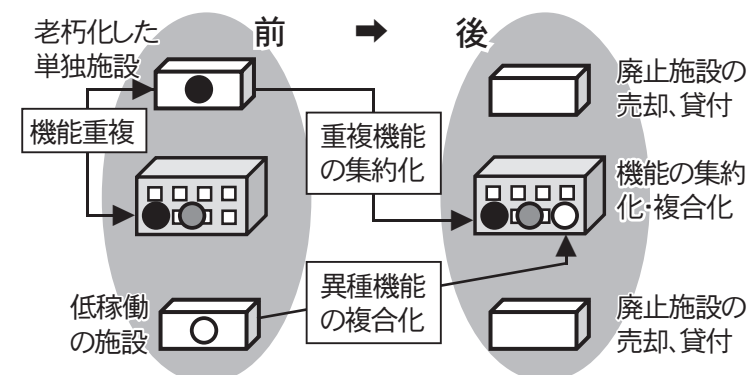
■維持費の縮減が図れます

統廃合などを進めることにより、長期的な視点からは、公共施設全体の維持費や運営費を縮減できます。

■計画をより理解いただくために

この計画の趣旨を正しく理解していただき、公共施設の再編を市民の皆さんと一緒に考えていけるよう、次の日程で計画の説明会を開催します。ぜひご参加ください。このほか、公共施設の再編をテ

(図1) 機能を重視した統廃合などのイメージ



今後は、公共施設が有する機能に焦点を当て、類似・重複している場合は統廃合など(図1)を進めるとともに、規模や配置、公共サービスのあり方を見直します。また、バリアフリーや省エネルギー対応にも配慮した、より利用しやすい施設にリニューアルするなど、公共施設の再編に取り組みます(図2)。

### 《計画書をご覧ください》

「狭山市公共施設等総合管理計画」の冊子は、地区センター、公民館、図書館でご覧いただけるほか、公式ホームページからもダウンロードできます。

「マ」にした講演会やワークショップを開催する予定です。日程などが決まり次第、広報さやま、公式ホームページなどでお知らせします。 ※今後は、市民の皆さんのご意見を踏まえ、公共施設の再編に関する詳細な計画として「狭山市公共施設再編計画(仮称)」を策定する予定です。

### 狭山市公共施設等総合管理計画の説明会日程

開催日	時間	会場
11月20日(月)	19時	中央公民館
11月21日(火)	19時	入曽公民館
11月22日(水)	19時	新狭山公民館
11月24日(金)	19時	広瀬公民館
11月28日(火)	19時	堀兼公民館

※ご都合の良い会場にお越しください。時間は1時間30分程度です

問合せ行政経営課へ内線7231